

Health, and Safety Report

# 安全衛生報告

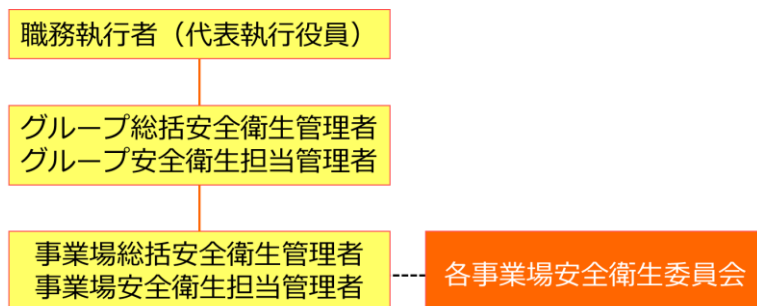
## 安全衛生管理体制

### 安全衛生管理体制

クアーズテック合同会社グループでは、安全衛生管理を統括および推進するため、グループに総括安全衛生管理者および安全衛生担当管理者を設け、各製造事業所に総括安全衛生管理者および安全衛生担当管理者を選任しています。

また、労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針（厚生労働省）に則り、リスクの低減活動を進めています。

◆労働安全衛生管理体制図（体系図）



## 業務災害発生状況

### 業務災害発生状況

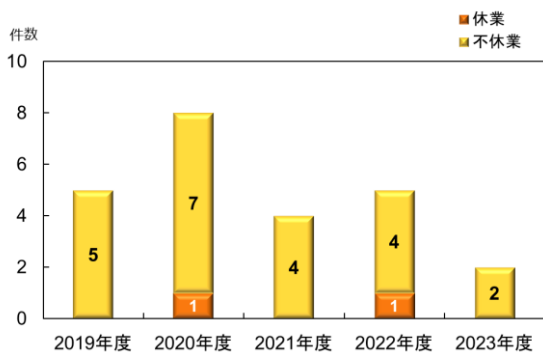
2023年度のクアーズテック合同会社グループにおける業務災害は2件で、過去5年最も少ない件数となりました。また、休業災害も2年ぶりに0件となりました。災害の原因をみると業務災害の2件ともヒューマンエラーが要因の一つに挙げられています。2022年度に実施した管理監督者向けのヒューマンパフォーマンス教育に続き、2023年度は、一般従業員向けにヒューマンパフォーマンス教育を全従業員に実施しました。引き続き、その他の安全教育、機械の保護装置・安全装置の整備やリスクレベルの改善、Foresight 4 Safety<sup>※</sup>、指差し呼称の定着、リスク低減などの取組みを進めてまいります。

2023年度は、小国事業所、長崎事業所とクアーズテック徳山の3事業場が業務災害0件を達成しており、クアーズテック徳山は12年連続で無災害を達成しています。

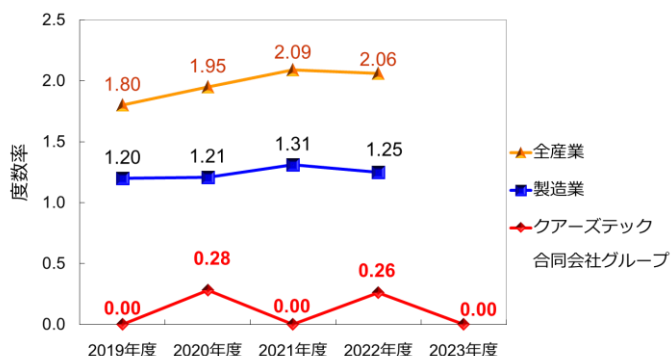
※Foresight 4 Safety：作業の前に考える4つの項目。

（何をしようとしていますか、どんな危険が潜んでいますか、あなたならどうしますか、誰に伝えますか）

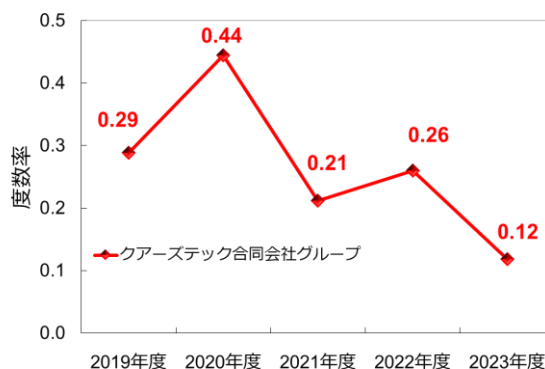
◆クアーズテック合同会社グループの業務災害発生状況



◆度数率<sup>※1</sup>



◆20万時間当たりの度数率<sup>※2</sup>



(備考) クアーズテック合同会社グループ以外の数値は、厚生労働省労働災害統計による。

※1 度数率：延べ労働時間数 100 万時間当たりの災害（休業 1 日以上および身体の一部または機能を失うもの）発生数。  
ただし、休業 1 日以上および身体の一部又は機能を失う労働災害による死傷者数に限定して算出。  
クアーズテック合同会社グループは、業務災害の発生数で算出。

※2 20 万時間当たりの度数率：延べ労働時間数 20 万時間当たりの全業務災害発生数。

## 安全衛生活動の目標と実績

### 労働安全衛生目標

クアーズテック合同会社グループは、人の生命を最優先とし、職場の安全確保と従業員および関係者の健康を大切にするために、安全衛生活動基本方針を定め、安全で快適な職場環境を維持し、業務災害および職業性疾病の防止に努め、また、自らの健康づくりを推進しています。

#### ◆2023 年度 重点事項の実績

2023 年度 重点事項	目標	実績	評価 <sup>※3</sup>
1. 業務災害ゼロに向けた取組み	(1) ヒューマンパフォーマンスの向上 ・ヒューマンパフォーマンス教育 ・Foresight 4 Safety の定着	・全従業員（嘱託、パート、派遣含む）に対しビデオ教育 ・各事業場で週 1 回以上実施、計 342 回	○
	(2) リスク低減の推進 ・リスクアセスメント実施とリスク改善 ・リスクレベル <sup>※1</sup> (安全、化学物質)Ⅱ,Ⅲの 5%以上改善 ・統一 RA 評価基準を用いて RA 実施 ・GEMBA WALK の実施 ・Safety Alert Review (災害や重要インフラの類似リスク調査、是正横展開)	・レベルⅡ,Ⅲ：6%改善 ・長崎事業所 75%、他 100% ・GEMBA WALK：10 件 ・Safety Alert Review：59 件	◎
	(3) その他 ・エルゴノミクス <sup>※2</sup> の作業評価システムの導入	・作業評価システムの導入と各事業場の EHS 担当に教育完了。	○
2. 心身の健康維持増進	(1) COVID-19 対応	・5/8 以降 2 類相当から 5 類移行に伴ない管理を変更。	○
	(2) 健康診断結果の改善の啓蒙推進	・産業医、労働衛生コンサルタントによる教育	○
	(3) メンタルヘルスの環境の改善・向上	・計画どおり実施	○

※1 リスクレベルⅡ：計画的に低減対策を要するリスク、Ⅲ：優先的に低減対策を要するリスク

※2 エルゴノミクス：人間工学。身体への負担を小さくし、疾病が起こりにくくなるように機械設計や作業方法を最適化すること。

※3 ◎：目標を上回る成果、○：目標を達成、△：目標未達

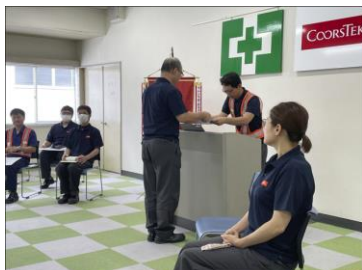
#### ◆2024 年度 重点事項

1. 業務災害ゼロに向けた取組み (1) リスク低減の推進 (2) その他	2. 心身の健康維持増進 (1) 健康診断結果の改善の啓蒙推進 (2) メンタルヘルスの環境の改善・向上
---	--

## 安全衛生活動

### 安全衛生意識の高揚

例年、各事業場では、Foresight 4 Safety や全国安全週間、全国労働衛生週間に合わせ、関係会社や協力会社を含めた全員集会や安全大会により安全衛生講話や表彰などを行い、安全衛生意識の高揚を図っています。2023 年度も引き続き、COVID-19 対応により、全国安全週間でのメッセージ伝達や安全衛生表彰、啓蒙活動等は、感染防止対策をとり、リモートシステムを使用して開催しました。



全国安全週間行事での表彰式  
(小国事業所)



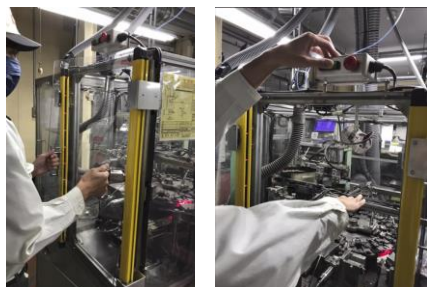
全国安全週間行事での表彰式  
(秦野事業所)



全国安全週間行事での安全集会  
(長崎事業所)

### 安全衛生教育・訓練

安全衛生に関わる各種教育を年間安全衛生教育・訓練計画に基づき実施し、従業員の安全確保と安全衛生意識の高揚に取り組んでいます。



エリアセンサー教育  
(小国事業所)



衛生教育  
(秦野事業所)



安全衛生教育  
(長崎事業所)

### (危険体感教育)

クアーズテック合同会社グループでは、業務災害を無くすために従業員一人ひとりのリスクに対する感度を上げることが重要であると考え、作業中に潜むリスクについて身を持って体感できる危険体感教育を行っています。



巻き込まれの体感教育  
(小国事業所)



巻き込まれの体感教育  
(秦野事業所)



巻き込まれの体感教育  
(刈谷事業所)

### (LOTOTO 教育：ロックアウト・タグアウト・トライアウト教育)

ロックアウト・タグアウト・トライアウト<sup>※</sup>は、機械や装置の点検、清掃、メンテナンスなどを行う従業員を機械の誤動作や誤操作による危険から守る手段として重要な手順です。全事業場でロックアウト・タグアウト・トライアウトの教育を重点的に実施しています。

※ロックアウト：機械や装置に供給されるエネルギー（動力）源を遮断し、起動装置に鍵を掛け、他人による機械の操作をさせないようにすること。

タグアウト：機械のエネルギー源の遮断中に、遮断した機械や装置の操作を禁止することを札（タグ）によって明示すること。

トライアウト：機械設備が動かないことを、残留エネルギーの確認と起動スイッチを入れて確認する（試す）こと。

## リスク低減活動

### (マシンガードの整備)

クアーズテック合同会社グループでは、グループ安全衛生ガイドラインに基づいて、マシンガード<sup>※</sup>の整備に取り組んでいます。新規導入設備に関しては、導入前の安全衛生・環境事前評価および設備デザインレビューにて安全性を評価し、また、既存の設備については、リスクアセスメントの評価結果に基づいて計画的にマシンガードを設置してきました。2022年度に全事業所とクアーズテック徳山で、マシンガードの初期不具合の改善が完了しました。引き続き、定期的なリスクアセスメントや Foresight 4 Safety、ヒヤリハット情報などのリスク低減活動に基づいて、マシンガードの改善を図っていきます。

※マシンガード：機械の危険源に作業者が触れないようにするための扉、柵、機械の自動停止機能等。

### (エルゴノミクス改善)

クアーズテック合同会社グループでは、従業員の作業負荷軽減を目的に、エルゴノミクスの評価結果に基づいた計画的な改善に取り組んでいます。



改善前

改善後

重荷物運搬作業方法の改善：吸着式マテハンの導入  
(小国事業所)

改善前

改善後

重荷物の引き出し作業の改善：取っ手を付け中腰作業を解消  
(秦野事業所)

### (妊婦の職場リスクアセスメント)

クアーズテック合同会社グループでは、妊婦にとって負担の大きい業務がないか評価するため、作業環境、作業姿勢、作業の制限に分類し、各項目についてリスクアセスメントを行い、その評価結果に基づき、安全と衛生が確保できるように努めています。

## 従業員の健康

### (身体の管理)

クアーズテック合同会社グループでは、従業員が健康に働ける職場づくりを目指し、各種健康診断を実施し、その診断結果を基にした健康管理、健康全般に関する相談の機会を設けています。また、過重労働による健康障害防止対策として、従業員への産業医などによる面談や、従業員からの希望による面談にも随時対応し、一人ひとりの健康問題に対処しています。さらに、小国事業所では近年高年齢雇用の推進に伴ない、高年齢作業が増加しています。高年齢作業に健康で安全に働いてもらうために、健康状態の確認も必要と考え、50歳以上の選抜した作業者を対象に転

倒災害防止のための体力チェックを行いました。今後は事業所全体に展開する予定です。



高年齢作業者の体力チェック  
(小国事業所)

### (メンタルヘルス)

メンタルヘルスについては、予防の視点から、心の初期不調者への気づき、見落としの撲滅に向けて、管理者を対象とした研修を行うとともに、従業員自らが心の変化に気づくためのメンタルヘルス教育などを実施しています。また、カウンセラーの設置や、メンタルヘルス不調により休業した従業員が円滑に職場復帰できるように「職場復帰支援プログラム」を策定するなど、従業員に対するケアを行っています。